

建武の新政、室町時代【入門編】

①みるだけ建武の新政、室町時代（1333～1573年）

1 建武の新政

- **2 後醍醐天皇**の政治。数年で失敗

室町幕府と南北朝の動乱

- **3 足利尊氏**が室町幕府を開く（北朝）
- **4 管領**：将軍の補佐
- **5 守護大名**：鎌倉時代より守護の権力が増大
※南北朝時代：後醍醐天皇（南朝）と対立
- **6 足利義満**：3代将軍。南北朝を統一

外交

- **7 日明貿易（勘合貿易）**：**8 勘合**を使用
→ **9 倭寇**と区別するため
- **10 琉球王国**：中継貿易で栄える

11 応仁の乱

- 1467年、8代将軍 **12 足利義政**のとき
→日本は戦国時代になる

戦国大名の登場

- **13 下剋上**：実力で上の身分の者に打ち勝つ
- **14 分国法**：戦国大名が制定した法令

室町時代の民衆と産業

1. 農村
 - **15 惣**：農民の自治組織
→寄合を開く。村のおきてを制定
2. 商業
 - **16 馬借**：運送業者
 - **17 座**：同業者の組合
 - **18 町衆**：京都の豊かな商工業者

さまざまな一揆

- **19 土一揆**：農民が団結
- **20 一向一揆**：浄土真宗の信者が団結

室町文化

- **21 金閣**：**22 足利義満**が建立
- **23 能**：**24 観阿弥**・**25 世阿弥**が大成
- **26 銀閣**：**27 足利義政**が建立
- **28 書院造**：住居の建築様式
- **29 水墨画**：**30 雪舟**が大成

②よむだけ建武の新政、室町時代

建武の新政 鎌倉幕府をほろぼした¹後醍醐天皇は、みずから政治を始めました。この政治を²建武の新政といいます。しかし、貴族を重視する政治に武士が不満を強め、³足利尊氏が挙兵して建武の新政は失敗に終わりました。

室町幕府と南北朝の動乱 ⁴足利尊氏は京都に新しい天皇を立て、征夷大將軍に任命されて⁵室町幕府を開きました。室町時代の守護は鎌倉時代よりも権限が強化されたため、⁶守護大名とよばれるようになりました。室町幕府で將軍の補佐をする役職である⁷管領は、有力な守護大名から選ばれました。

- 一方、⁸後醍醐天皇は吉野(奈良県)にのがれて引き続き正統な天皇であると主張したため、京都(北朝)と吉野(南朝)の2つの朝廷が争うこととなりました。この南北朝時代は、1392年に3代將軍の⁹足利義満が南北朝を統一するまで続けました。

外交 ¹⁰足利義満は中国の¹¹明と貿易を開始しました(¹²日明貿易)。正式な貿易船を¹³倭寇と区別するために¹⁴勘合を使用したことから、¹⁵勘合貿易ともいいます。現在の沖縄では15世紀前半に¹⁶琉球王国が建国され、中継貿易で栄えました。

室町時代の民衆と産業 室町時代の農村では、¹⁷惣という農民の自治組織が作られ、寄合を開いて村のおきてなどを決めました。

- 商業では、物資を運ぶ¹⁸馬借が活動しました。商人や手工業者は、¹⁹座という同業者の組合を結成し、営業を独占しました。京都では、²⁰町衆と呼ばれる豊かな商工業者が都市の政治を行いました。

さまざまな一揆 ²¹土一揆は、農民が団結し守護大名や荘園領主に抵抗する一揆のことです。²²一向一揆は、浄土真宗を信仰する武士や農民が団結した一揆をいいます。

応仁の乱 1467年、8代將軍²³足利義政のとき、將軍のあとつぎ問題に有力守護大名どうしの争いがからんで、²⁴応仁の乱という大きな戦乱が起こりました。京都で始まった戦乱は全国に広がり、日本は²⁵戦国時代になりました。

戦国大名の登場 戦国時代には、実力で上の身分の者に打ち勝つ²⁶下剋上の状況が見られるようになりました。このようななかから登場した戦国大名は、幕府に関係なく独自の²⁷分国法を定めて、領地を支配するようになりました。

室町文化 ²⁸足利義満は京都の北山に²⁹金閣を建立しました。同じころ、³⁰観阿弥・

³¹世阿弥の親子が、現在まで続く³²能を大成しました。

- ³³足利義政は京都の東山に³⁴銀閣を建立。³⁵書院造という建築様式もこのころ広まりました。また、³⁶雪舟が墨一色で自然を表現する³⁷水墨画を大成しました。

建武の新政、室町時代【入門編・演習】

①みるだけ建武の新政、室町時代（1333～1573年）

1

- 2 _____ の政治。数年で失敗

室町幕府と南北朝の動乱

- 3 _____ が室町幕府を開く（北朝）
- 4 _____ : 将軍の補佐
- 5 _____ : 鎌倉時代より守護の権力が増大
※南北朝時代：後醍醐天皇（南朝）と対立
- 6 _____ : 3代将軍。南北朝を統一

外交

- 7 _____ (_____) : 8 _____ を使用
→ 9 _____ と区別するため
- 10 _____ : 中継貿易で栄える

室町時代の民衆と産業

1. 農村
 - 15 _____ : 農民の自治組織
→ 寄合を開く。村のおきてを制定
2. 商業
 - 16 _____ : 運送業者
 - 17 _____ : 同業者の組合
 - 18 _____ : 京都の豊かな商工業者

さまざまな一揆

- 19 _____ : 農民が団結
- 20 _____ : 浄土真宗の信者が団結

11

- 1467年、8代将軍 12 _____ のとき
→ 日本は戦国時代になる

戦国大名の登場

- 13 _____ : 実力で上の身分の者に打ち勝つ
- 14 _____ : 戦国大名が制定した法令

室町文化

- 21 _____ : 22 _____ が建立
- 23 _____ : 24 _____ • 25 _____ が大成
- 26 _____ : 27 _____ が建立
- 28 _____ : 住居の建築様式
- 29 _____ : 30 _____ が大成

②よむだけ建武の新政、室町時代

建武の新政 鎌倉幕府をほろぼした ¹ _____ は、みずから政治を始めました。この政治を ² _____ といいます。しかし、貴族を重視する政治に武士が不満を強め、³ _____ が挙兵して建武の新政は失敗に終わりました。

室町幕府と南北朝の動乱 ⁴ _____ は京都に新しい天皇を立て、征夷大將軍に任命されて ⁵ _____ を開きました。室町時代の守護は鎌倉時代よりも権限が強化されたため、⁶ _____ とよばれるようになりました。室町幕府で將軍の補佐をする役職である ⁷ _____ は、有力な守護大名から選ばれました。

- 一方、⁸ _____ は吉野(奈良県)にのがれて引き続き正統な天皇であると主張したため、京都(北朝)と吉野(南朝)の2つの朝廷が争うこととなりました。この南北朝時代は、1392年に3代將軍の ⁹ _____ が南北朝を統一するまで続けました。

外交 ¹⁰ _____ は中国の ¹¹ _____ と貿易を開始しました(¹² _____)。正式な貿易船を ¹³ _____ と区別するために ¹⁴ _____ を使用したことから、¹⁵ _____ ともいいます。現在の沖縄では15世紀前半に ¹⁶ _____ が建国され、中継貿易で栄えました。

室町時代の民衆と産業 室町時代の農村では、¹⁷ _____ という農民の自治組織が作られ、寄合を開いて 村のおきて などを定めました。

- 商業では、物資を運ぶ ¹⁸ _____ が活動しました。商人や手工業者は、¹⁹ _____ という同業者の組合を結成し、営業を独占しました。京都では、²⁰ _____ と呼ばれる豊かな商工業者が都市の政治を行いました。

さまざまの一揆 ²¹ _____ は、農民が団結し守護大名や荘園領主に抵抗する一揆のことです。²² _____ は、浄土真宗を信仰する武士や農民が団結した一揆をいいます。

応仁の乱 1467年、8代將軍 ²³ _____ のとき、將軍のあとつぎ問題に有力守護大名どうしの争いがからんで、²⁴ _____ という大きな戦乱が起こりました。京都で始まった戦乱は全国に広がり、日本は ²⁵ _____ になりました。

戦国大名の登場 戦国時代には、実力で上の身分の者に打ち勝つ ²⁶ _____ の状況が見られるようになりました。このようななかから登場した戦国大名は、幕府に関係なく独自の ²⁷ _____ を定めて、領地を支配するようになりました。

室町文化 ²⁸ _____ は京都の北山に ²⁹ _____ を建立しました。同じころ、³⁰ _____。
³¹ _____ の親子が、現在まで続く ³² _____ を大成しました。
• ³³ _____ は京都の東山に ³⁴ _____ を建立。³⁵ _____ という建築様式もこのころ広まりました。また、³⁶ _____ が墨一色で自然を表現する ³⁷ _____ を大成しました。